

第 255 回競技委員会議事録

1. 日 時：2018 年 10 月 10 日（水）18 時 00 分～20 時 30 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 13、定足数 9、出席 13（内委任状 2）で成立。

寺本直志委員長、ロバート・ゲラー競技会事業担当業務執行理事、

吉田正、斉藤千鶴乃、山後秀幸、桜井雅子、正村祐一、

久富健史、仲村篤志、西田奈津子、浅越ことみ

委任状：佐々部君敏、林伸之

オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 セクショナルディレクターの承認

	藤原 あかり	191146	C-01013	静岡県
推薦	林 伸之	81667	S-00069	
	貴戸 祥郎	199218	C-01142	神奈川県
推薦	仲村 篤志	128232	N-00006	

第 2 号議案 コンベンションに関する WG からの報告

- (1) 吉田委員より 9/12 と 10/10 に開催されたコンベンションに関する WG の報告があった。
- (2) 「強いハンド」について WG から幾つかの案の提出され検討した。
- (3) 具体的なハンドによる検討が行われ、さらに詳細な検討が必要という意見があり改めて WG で検討することとした。
- (4) 良い定義ができれば「強いハンドの定義」の見直しを行うことは合意した。
- (5) コンベンションリストの書式をリスト毎に独立して記述してはどうかと意見があり、WG で検討することとした。

第 3 号議案 競技会運営規則・試合要項に関する WG からの報告

- (1) 山後委員より 9/5 に開催された競技会運営規則・試合要項に関する WG の報告があった。
- (2) 吉田委員が ACBL General Conditions of Contest を翻訳し JCBL の競技会運営規則・試合要項との比較検討を行った。
- (3) JCBL 版の General Conditions of Contest の作成は必要が無く、個別の試合要項の見直しを行う方針について報告があり合意した。
- (4) 渡辺杯の VP スケールで小数点版の作成を検討した。具体案の提出があってから改めて WG で検討することの報告があった。
- (5) スイス戦での最終ラウンドにおいて、再戦や優勝が確定したチームの取り扱いについて検討したが、現状通りとするの報告があった。
- (6) 高松宮記念杯の決勝戦において IMP が引き分けだったときは、無敗のチームを優勝とすることが提案され合意した。すべてのフライトで適用する。
- (7) 文部科学大臣杯関東予選および全国大会の KO 戦で IMP が引き分けだったときは、予選の順位が上だったチームを勝ちとすることが提案され合意した。
- (8) 藤山杯のプレイオフについて 3 チーム以上がタイだったときはプレイオフとして各対戦毎に 1 ボードの総当たり戦を行う、B-a-M の得点が少ないチームが脱落し、1 チームが残るまでプレイオフを続けることが改めて確認された。試合要項の記述はより分かりやすく変更することとした。

第4号議案 全日程に参加できないチームやペアの参加について

- (1) 高松宮記念杯のフライト A で全日程に参加できないチームの参加があり今後の方針を検討した。
- (2) 現在は全日程に参加できないチームやペアについての記述がないことを確認し JCBL の方針について検討した。
 - ・他の参加者のプレイする権利を奪うような参加は適切ではないという意見があった。
 - ・事前に参加できないことが判明しているチームは、事前に表明のうえ不戦敗の1つ前の試合の対戦相手は実際の対戦で負けても KO 戦の続きができることにしてはどうかという意見があった。
 - ・不戦敗のチームの不戦敗の理由を確認したり調査することは現実的ではないという意見があった。
 - ・予選と決勝がある競技会は別の競技会であり予選だけ参加することは可能なことを確認した。
 - ・競技会形式によっては途中までの参加であっても他の参加者に迷惑がかからないので、主催者の判断によっては認めるべきという意見があった。
- (3) 参加者は全日程に参加することを前提とし、主催者が認めたときに限り参加することができることを JCBL HANDBOOK の「競技会に参加するには」に記述することで合意した。
- (4) 高松宮記念杯において不戦敗を前提に参加することは望ましくないことで合意した。
- (5) メンバーの追加については、全日程の半分を過ぎた後でも規定の範囲内で追加できることを再確認した。
- (6) 急な事態による不戦敗については現状の規定通り対応することを確認した。

第5号議案 競技会における不適切な手順を行うプレイヤーについての意見書について

- (1) 競技会における不適切な手順を行うプレイヤーについての意見書について検討した。
- (2) 意見書の内容には、
 - ・本来テーブル上でディレクターを呼ぶ案件
 - ・規定に関する誤解
 - ・記録保管制度を活用する案件があることを確認した。

第6号議案 その他議案

- (1) 報告のあった上告2件について意見交換を行った。

次回競技委員会は2018年12月5日(水)18時00分からの開催を予定する。

以上